

愛称：トリプル維新ファンド（安定タイプ） / （成長タイプ）

追加型投信 / 内外 / 資産複合

信託期間：無期限

決算日：毎年6月23日（休業日の場合翌営業日）

基準日：2023年6月30日

安定タイプの運用状況

※過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2023年6月30日現在

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 9,192 円 |
| 純資産総額 | 95億円    |

期間別騰落率

| 期間   | ファンド    |
|------|---------|
| 1か月間 | +1.8 %  |
| 3か月間 | +1.4 %  |
| 6か月間 | +2.0 %  |
| 1年間  | -2.0 %  |
| 3年間  | -12.2 % |
| 5年間  | -7.0 %  |
| 年初来  | +2.0 %  |
| 設定来  | -8.1 %  |



※「基準価額（分配金再投資）」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（7ページ目の「ファンドの費用」をご覧ください）。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「基準価額（分配金再投資）」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

| 決算期（年/月）    | 分配金 |
|-------------|-----|
| 第1期 (17/06) | 0円  |
| 第2期 (18/06) | 0円  |
| 第3期 (19/06) | 0円  |
| 第4期 (20/06) | 0円  |
| 第5期 (21/06) | 0円  |
| 第6期 (22/06) | 0円  |
| 第7期 (23/06) | 0円  |

分配金合計額 設定来：0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産に対するものです。

組入ファンド別構成

| ファンド名              | 比率     |
|--------------------|--------|
| 国内株式ファンド           | 3.2%   |
| 先進国株式ファンド          | 3.2%   |
| 新興国株式ファンド          | 3.2%   |
| 国内REITファンド         | 4.9%   |
| 先進国REITファンド        | 4.9%   |
| 先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 53.0%  |
| 新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 26.7%  |
| コールローン、その他         | 1.0%   |
| 合計                 | 100.0% |

※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

※為替ヘッジ付外債は、日本円に分類しています。

通貨別構成

| 通貨        | 比率     |
|-----------|--------|
| 日本円       | 88.6%  |
| 米ドル       | 9.7%   |
| ユーロ       | 0.8%   |
| 豪ドル       | 0.3%   |
| 英ポンド      | 0.2%   |
| カナダ・ドル    | 0.2%   |
| シンガポール・ドル | 0.2%   |
| 香港ドル      | 0.0%   |
| イスラエル・シケル | 0.0%   |
| その他       | 0.0%   |
| 合計        | 100.0% |

「ファンドマネージャーのコメント」

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

【投資行動】

ほぼ基本配分比率通りの資産配分を維持しました。

【パフォーマンス】

6月は、月の前半に米国の債務上限問題が解決したことや、中国の経済対策への期待などから市場心理が改善しました。このような環境下、新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド、先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド、先進国REITファンドなどが上昇したことから、ファンド基準価額は月間で上昇となりました。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身で判断ください。8ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

設定・運用



ワイエムアセットマネジメント

商号等

ワイエムアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第44号

加入協会

一般社団法人投資信託協会

# 安定タイプの運用状況

## 組入ファンドの騰落率

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

| 投資信託証券（ファンド名）      | 運用会社名        | 主な投資方針  | 騰落率   |        |        |         |
|--------------------|--------------|---|-------|--------|--------|---------|
|                    |              |   | 1カ月間  | 3カ月間   | 6カ月間   | 設定来     |
| 国内株式ファンド           | 大和アセットマネジメント | 国内の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。  | +6.2% | +15.5% | +22.9% | +121.9% |
| 先進国株式ファンド          |              | 日本を除く先進国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。  | +6.4% | +16.8% | +23.1% | +201.6% |
| 新興国株式ファンド          |              | 新興国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。   | +5.1% | +11.2% | +13.7% | +97.6%  |
| 国内REITファンド         |              | 国内のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。   | -0.1% | +4.8%  | +0.3%  | +39.0%  |
| 先進国REITファンド        |              | 日本を除く先進国のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。   | +6.0% | +12.9% | +10.7% | +61.2%  |
| 先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド |              | 先進国通貨建ての債券を主な投資対象とし、日本を除く先進国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。       | +0.6% | -1.4%  | -0.2%  | -15.1%  |
| 新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド |              | 新興国の国家機関が発行する米ドル建ての債券を主な投資対象とし、新興国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。 | +3.0% | +1.0%  | +1.0%  | -20.4%  |

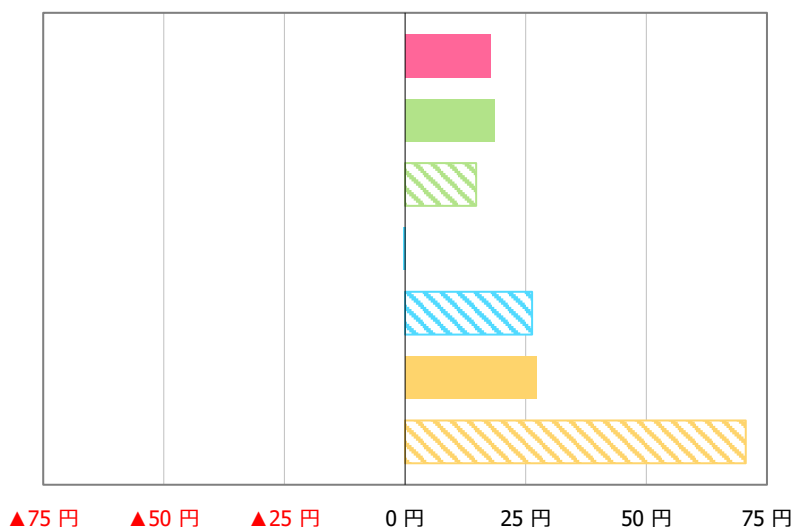
※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

## 基準価額の月次変動要因分解

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

|               |         |
|---------------|---------|
| 2023年6月末の基準価額 | 9,192 円 |
| 2023年5月末の基準価額 | 9,026 円 |
| 変動額           | 166 円   |

| 内訳                 | 合計    |
|--------------------|-------|
| 国内株式ファンド           | 18 円  |
| 先進国株式ファンド          | 18 円  |
| 新興国株式ファンド          | 15 円  |
| 国内REITファンド         | ▲0 円  |
| 先進国REITファンド        | 26 円  |
| 先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 27 円  |
| 新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 71 円  |
| 小計                 | 175 円 |
| 分配金                | 0 円   |
| 信託報酬、その他           | ▲9 円  |

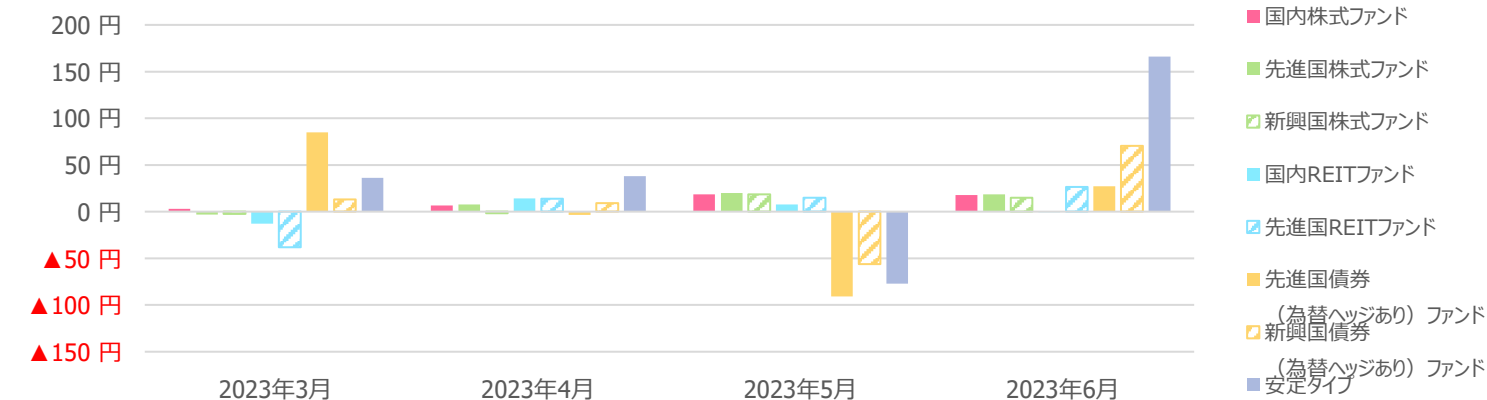


※「基準価額の月次変動要因分解」は、簡便法に基づく概算値です。

※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

## 基準価額の月次変動要因

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。



愛称：トリプル維新ファンド（安定タイプ） / （成長タイプ）

追加型投信 / 内外 / 資産複合

信託期間：無期限

決算日：毎年6月23日（休業日の場合翌営業日）

基準日：2023年6月30日

成長タイプの運用状況

※過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2023年6月30日現在

|       |          |
|-------|----------|
| 基準価額  | 11,891 円 |
| 純資産総額 | 33億円     |

期間別騰落率

| 期間   | ファンド    |
|------|---------|
| 1か月間 | +2.7 %  |
| 3か月間 | +5.0 %  |
| 6か月間 | +5.6 %  |
| 1年間  | +1.2 %  |
| 3年間  | +7.3 %  |
| 5年間  | +10.5 % |
| 年初来  | +5.6 %  |
| 設定来  | +18.9 % |



※「基準価額（分配金再投資）」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（7ページ目の「ファンドの費用」をご覧ください）。  
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「基準価額（分配金再投資）」を用いた騰落率を表しています。  
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

（1万口当たり、税引前）

| 決算期（年/月）    | 分配金 |
|-------------|-----|
| 第1期 (17/06) | 0円  |
| 第2期 (18/06) | 0円  |
| 第3期 (19/06) | 0円  |
| 第4期 (20/06) | 0円  |
| 第5期 (21/06) | 0円  |
| 第6期 (22/06) | 0円  |
| 第7期 (23/06) | 0円  |

分配金合計額 設定来：0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産に対するものです。

組入ファンド別構成

| ファンド名              | 比率     |
|--------------------|--------|
| 国内株式ファンド           | 8.2%   |
| 先進国株式ファンド          | 8.3%   |
| 新興国株式ファンド          | 8.1%   |
| 国内REITファンド         | 12.4%  |
| 先進国REITファンド        | 12.6%  |
| 先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 33.0%  |
| 新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 16.5%  |
| コールローン、その他         | 1.0%   |
| 合計                 | 100.0% |

※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。  
 ※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。  
 ※為替ヘッジ付外債は、日本円に分類しています。

通貨別構成

| 通貨        | 比率     |
|-----------|--------|
| 日本円       | 71.2%  |
| 米ドル       | 24.5%  |
| ユーロ       | 2.0%   |
| 豪ドル       | 0.8%   |
| 英ポンド      | 0.5%   |
| シンガポール・ドル | 0.4%   |
| カナダ・ドル    | 0.4%   |
| 香港ドル      | 0.1%   |
| ブラジル・リアル  | 0.0%   |
| その他       | 0.0%   |
| 合計        | 100.0% |

「ファンドマネージャーのコメント」

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【投資行動】

ほぼ基本配分比率通りの資産配分を維持しました。

【パフォーマンス】

6月は、月の前半に米国の債務上限問題が解決したことや、中国の経済対策への期待などから市場心理が改善しました。このような環境下、先進国REITファンド、先進国株式ファンド、国内株式ファンドなどが上昇したことから、ファンド基準価額は月間で上昇となりました。

# 成長タイプの運用状況

組入ファンドの騰落率 ※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

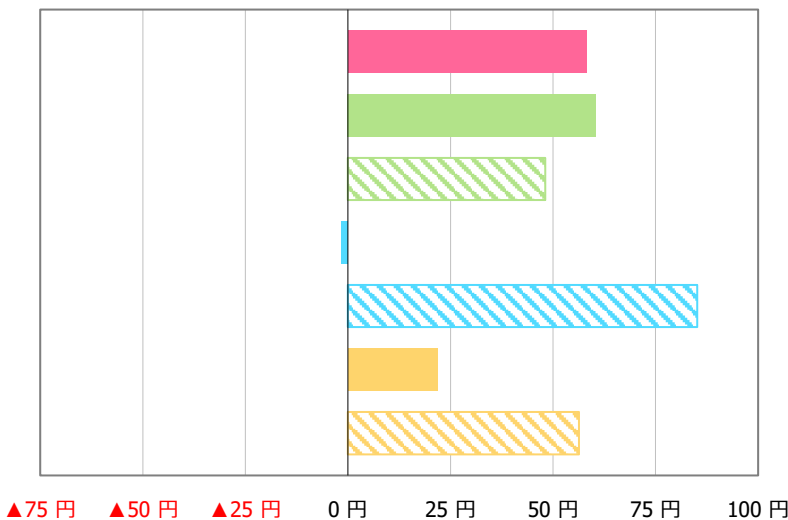
| 投資信託証券（ファンド名）      | 運用会社名        | 主な投資方針  | 騰落率   |        |        |         |
|--------------------|--------------|---|-------|--------|--------|---------|
|                    |              |   | 1カ月間  | 3カ月間   | 6カ月間   | 設定来     |
| 国内株式ファンド           | 大和アセットマネジメント | 国内の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。  | +6.2% | +15.5% | +22.9% | +121.9% |
| 先進国株式ファンド          |              | 日本を除く先進国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。  | +6.4% | +16.8% | +23.1% | +201.6% |
| 新興国株式ファンド          |              | 新興国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。   | +5.1% | +11.2% | +13.7% | +97.6%  |
| 国内REITファンド         |              | 国内のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。   | -0.1% | +4.8%  | +0.3%  | +39.0%  |
| 先進国REITファンド        |              | 日本を除く先進国のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。   | +6.0% | +12.9% | +10.7% | +61.2%  |
| 先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド |              | 先進国通貨建ての債券を主な投資対象とし、日本を除く先進国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。       | +0.6% | -1.4%  | -0.2%  | -15.1%  |
| 新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド |              | 新興国の国家機関が発行する米ドル建ての債券を主な投資対象とし、新興国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。 | +3.0% | +1.0%  | +1.0%  | -20.4%  |

※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

基準価額の月次変動要因分解 ※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

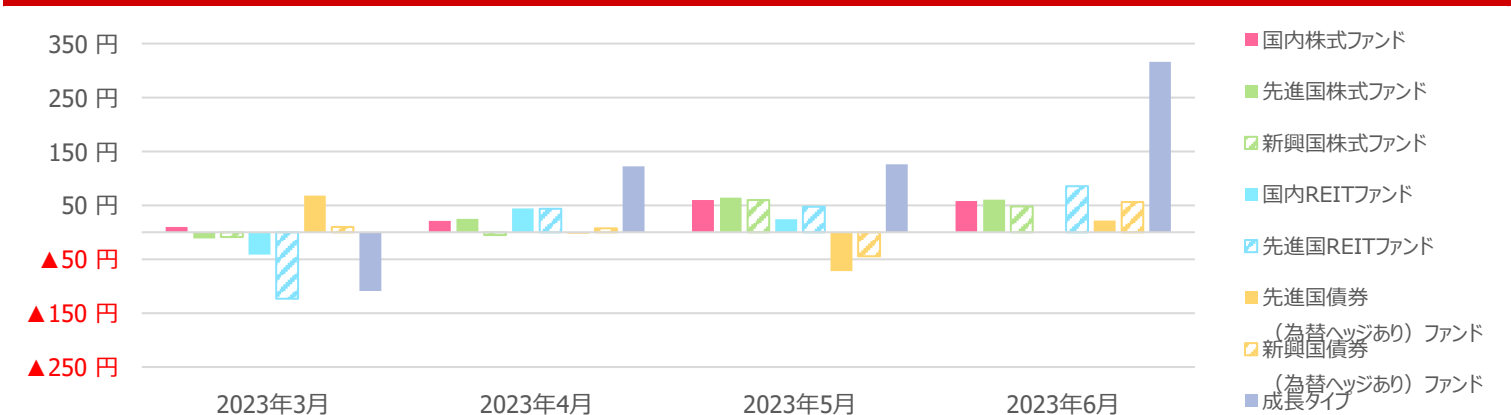
|               |              |
|---------------|--------------|
| 2023年6月末の基準価額 | 11,891 円     |
| 2023年5月末の基準価額 | 11,575 円     |
| <b>変動額</b>    | <b>316 円</b> |

| 内訳                 | 合計    |
|--------------------|-------|
| 国内株式ファンド           | 58 円  |
| 先進国株式ファンド          | 60 円  |
| 新興国株式ファンド          | 48 円  |
| 国内REITファンド         | ▲1 円  |
| 先進国REITファンド        | 85 円  |
| 先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 22 円  |
| 新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド | 56 円  |
| 小計                 | 329 円 |
| 分配金                | 0 円   |
| 信託報酬、その他           | ▲13 円 |



※「基準価額の月次変動要因分解」は、簡便法に基づく概算値です。  
※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

基準価額の月次変動要因 ※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。



# 「投資環境」

## 市況概況

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

### （国内株式）

国内株式市場は上昇しました。上旬から中旬は、米国の債務上限問題が解決したことや、大手自動車メーカーが公表したEV戦略が好感されたこと等により、上昇基調で推移しました。下旬に入ると、これまでの上昇による高値警戒感に加え、中国や欧州景気に対する不透明感の高まりにより軟調となる場面が見られたものの、円安の進行もあり、横ばい圏で推移しました。

### （先進国株式）

先進国株式市場は上昇しました。米国は上昇、欧州は横ばいでした。月前半は、米国の債務上限問題の解決や、米国のインフレ警戒感の後退、中国の経済対策への期待から米国・欧州とも上昇しました。しかし、FOMC（米国連邦公開市場委員会）やパウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長発言を受けた米国の年内2回の追加利上げの見方の高まり、また、中国等の景気不透明感の高まりにより、月後半は米国は横ばい、欧州は下落となりました。

### （新興国株式）

新興国株式市場は上昇しました。月前半は、米国の債務上限問題の解決や中国の金融緩和期待を背景に、堅調に推移しました。月後半は、中国のLPR（最優遇貸出金利）の低下が市場予想より小幅にとどまったとの見方や、パウエルFRB議長の議会証言を受けた米国の金融引き締め長期化観測などから、軟調な展開となりました。

### （国内リート）

国内リート市場は小幅に下落しました。日本株式が上昇した一方、国内リート市場は月間を通じて横ばい圏の推移となりました。グローバルな不動産市場の不透明感や日銀の金融引き締め・長期金利上昇懸念が国内リート市場の上値を抑えています。東証の低PBR（株価純資産倍率）改善要請により資本効率改善が期待され、日本株式が上昇したのに対して、利益のほぼ全額を配当し、既に資本効率が極めて高い国内リート市場は横ばいだったとも捉えられます。

### （先進国リート）

先進国リート市場はまちまちの展開となりましたが、米ドルや豪ドルが対円で上昇（円安）したことから組入ファンド基準価額は上昇しました。米国は、長期金利の高止まりや金融引き締め長期化観測などが重荷となったものの、債務上限問題の解決や景気懸念の後退などが支援材料となり、上昇しました。一方、欧州は、ECB（欧州中央銀行）による利上げ継続の示唆やBOE（イングランド銀行）による利上げ幅の拡大などを嫌気し、英国を中心に軟調に推移しました。

### （先進国債券）

先進国債券市場は短期債が下落（短期金利は上昇）、長期債が上昇（長期金利は低下）しました。米国においては、FRBが政策金利の据え置きを発表したものの、今後の政策金利見通しを上げたことや、経済指標が上振れたことなどから短中期を中心に金利が上昇しました。他の国もおおむね米国金利と同じ動きとなり、特に豪州では、RBA（豪州準備銀行）が市場予想が分かれるなかで利上げを決定したことなどから、大きく金利は上昇しました。

### （新興国債券）

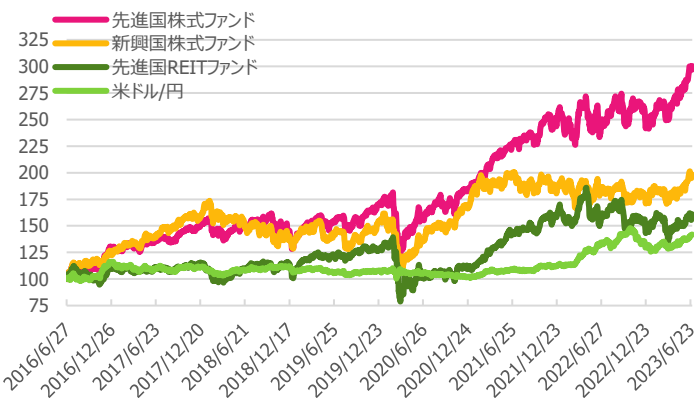
米ドル建て新興国債券に関しては、米国の債務上限問題が解決するなど市場心理が改善する中で、スプレッド（米国債との利回り格差）は縮小傾向となりました。

### （為替）

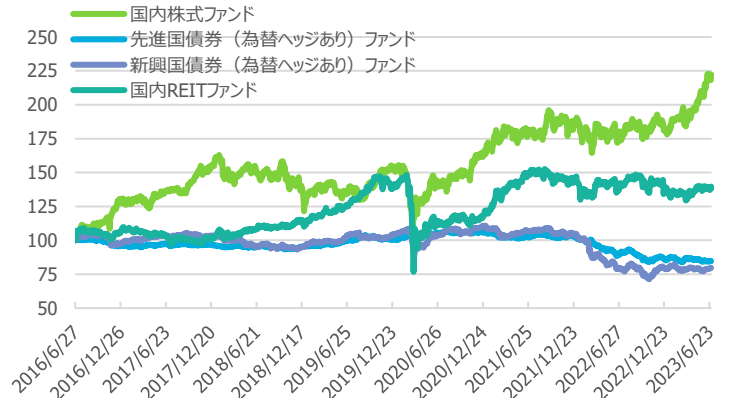
為替市場では、投資対象通貨は対円で上昇しました。FRBが政策金利見通しを上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、月末にかけて円安米ドル高が進行しました。その他の投資対象通貨も米ドル円につれる形で対円で上昇し、特に引き締め姿勢の継続を示唆したユーロや英ポンドは対円での上昇幅が大きくなりました。

新興国の為替市場では、FRBの金融引き締め観測から米国金利が上昇する中、日米金利差の拡大により円安が進行したことなどから、多くの新興国通貨が対円で上昇しました。

組入ファンド（為替ヘッジなし）と為替の価格の推移



組入ファンド（為替ヘッジありおよび国内資産）の価格の推移

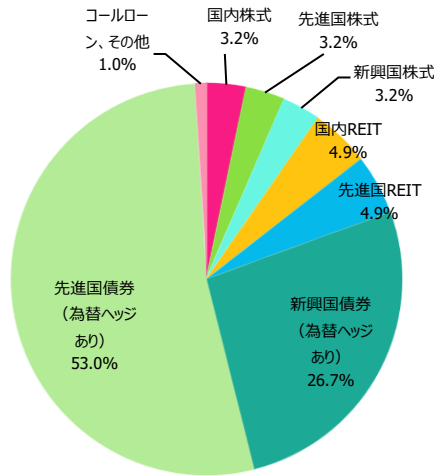


※ファンド設定日を基準として指数化しています。

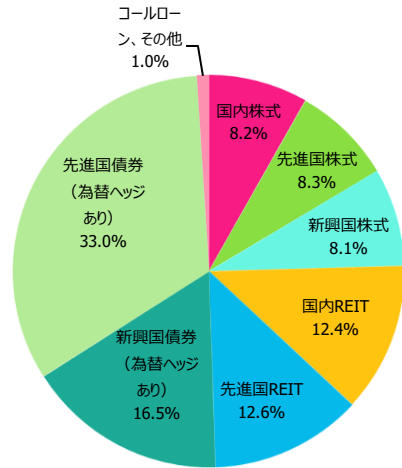
# 「各コースの資産・通貨別構成と基準価額の比較」

## 資産別組入ファンド比率（純資産比）

安定タイプ



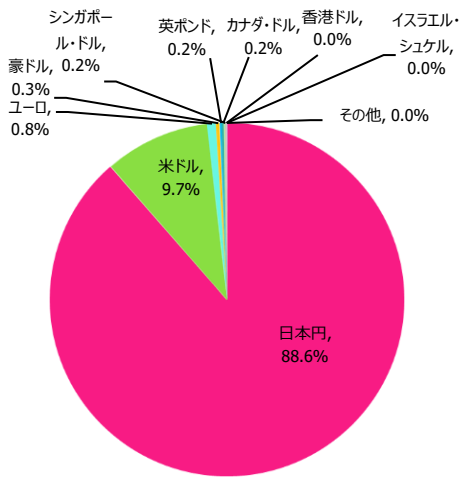
成長タイプ



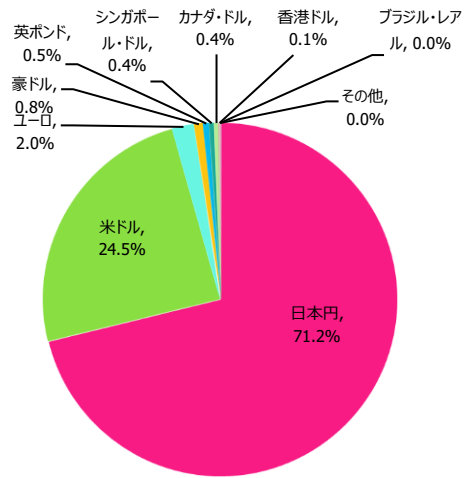
※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

## 通貨別構成（純資産比）

安定タイプ



成長タイプ



※大和アセットマネジメントのデータを基にワイエムアセットマネジメントが計算しています。

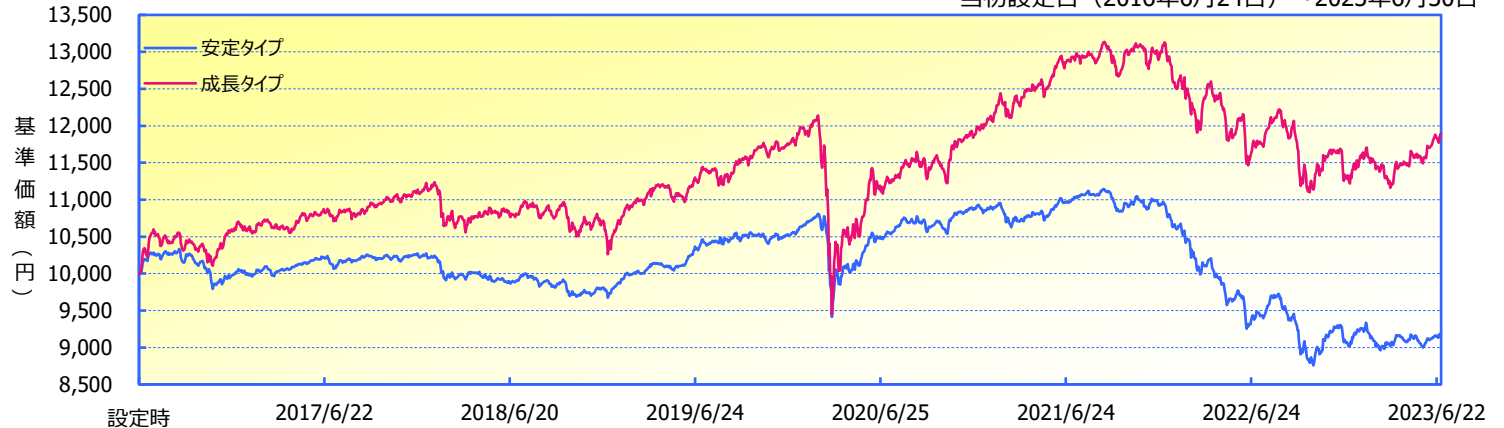
※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

※為替ヘッジ付外債は、日本円に分類しています。

## 基準価額（分配金再投資）の比較

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

当初設定日（2016年6月24日）～2023年6月30日



※「基準価額（分配金再投資）」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（7ページ目の「ファンドの費用」をご覧ください）。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

## 「ファンドの目的・特色」

### ファンドの目的

- 内外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

### ファンドの特色

1. 複数の投資信託証券への投資を通じて、主として内外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資します。
2. 各資産への投資比率が異なる「安定タイプ」と「成長タイプ」の2つのタイプから選択できます。
3. 山口フィナンシャルグループの運用会社であるワイエムアセットマネジメント株式会社がファンド運用を行ないます。
4. 内外の債券、株式およびリートを実質的な投資対象とする複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

・各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。  
YM アセット・バランスファンド（安定タイプ）：「安定タイプ」  
YM アセット・バランスファンド（成長タイプ）：「成長タイプ」  
・各ファンドの総称を「YM アセット・バランスファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

## 「投資リスク」

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、リートの価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## 「ファンドの費用」

| お客さまが直接的に負担する費用      |   |                             |
|----------------------|---|-----------------------------|
| 購入時手数料               | ありません。  |                             |
| 信託財産留保額              | ありません。  |                             |
| お客さまが信託財産で間接的に負担する費用 |   |                             |
| 運用管理費用<br>（信託報酬）     | 運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して次に掲げる率  |                             |
|                      | 安定タイプ   | 成長タイプ                       |
|                      | 年率 1.1275%（税込）  | 年率 1.2375%（税込）              |
| 投資対象とする<br>投資信託証券    | 年率 0.209%（税込）～年率 0.330%（税込）   | 年率 0.209%（税込）～年率 0.330%（税込） |
| 実質的に負担する<br>運用管理費用   | 年率 1.406%程度（税込）*  | 年率 1.510%程度（税込）*            |
| その他の費用・<br>手数料       | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。<br>※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 |                             |

\* 実際の組入状況等により変動します。

※手数料等の合計金額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

## 「当資料のお取り扱いにおけるご注意」

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメント株式会社により作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみならず投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみならず投資元本の実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

- ▶ ワイエムアセットマネジメント株式会社  
083-223-7124（営業日の9:00～17:00）
- ▶ 当社ホームページ  
▶ <http://www.ymam.co.jp/>

## 「販売会社」

| 販売会社（業態別、50音順）<br>（金融商品取引業者名） | 登録番号     | 加入協会             |                         |                         |                                |  |
|-------------------------------|----------|------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|--|
|                               |          | 日本証券業協会          | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融<br>商品取引業<br>協会 |  |
| 株式会社北九州銀行                     | 登録金融機関   | 福岡財務支局長（登金）第117号 | ○                       | ○                       |                                |  |
| 株式会社もみじ銀行                     | 登録金融機関   | 中国財務局長（登金）第12号   | ○                       | ○                       |                                |  |
| 株式会社山口銀行                      | 登録金融機関   | 中国財務局長（登金）第6号    | ○                       | ○                       |                                |  |
| ワイエム証券株式会社                    | 金融商品取引業者 | 中国財務局長（金商）第8号    | ○                       |                         |                                |  |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。